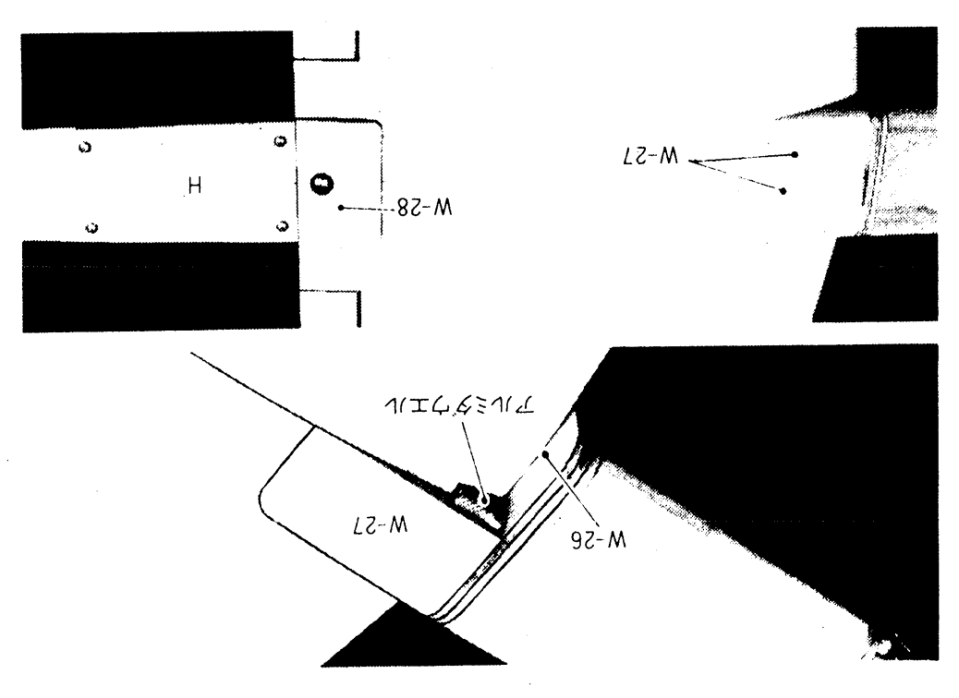
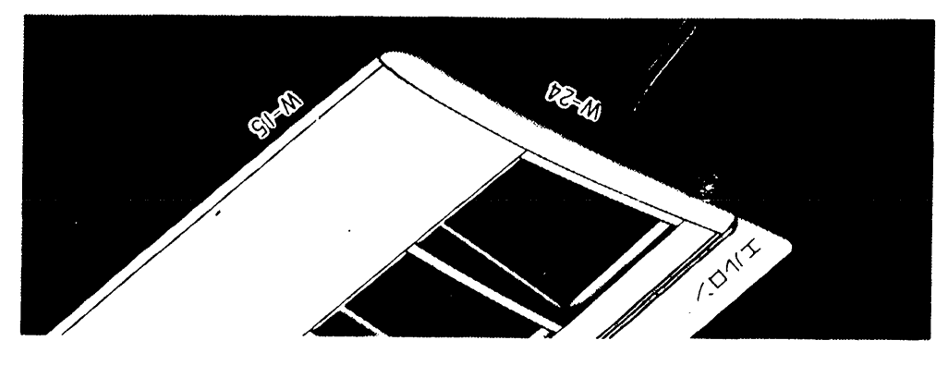
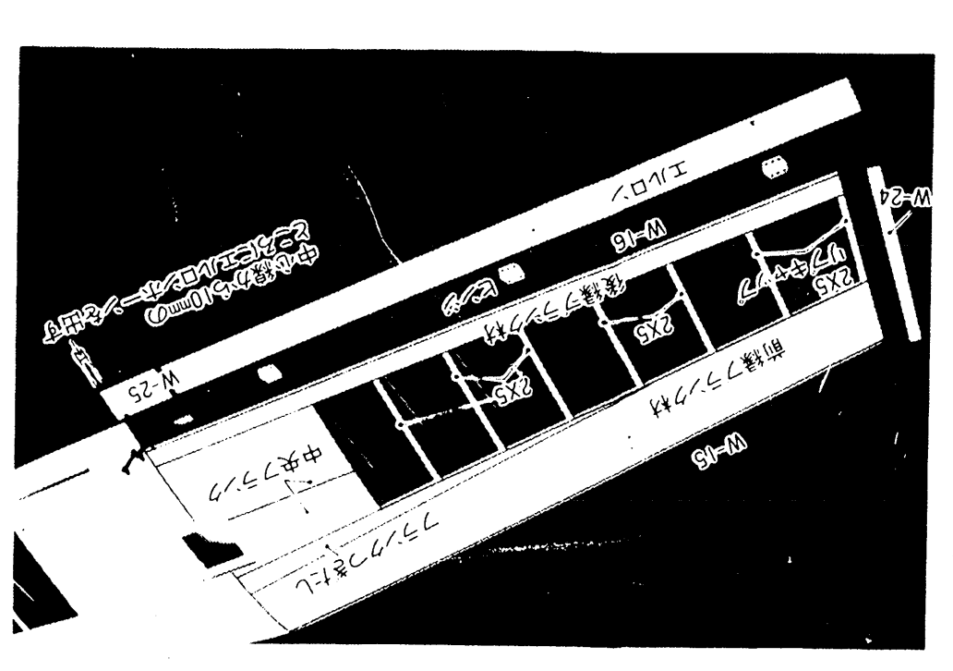
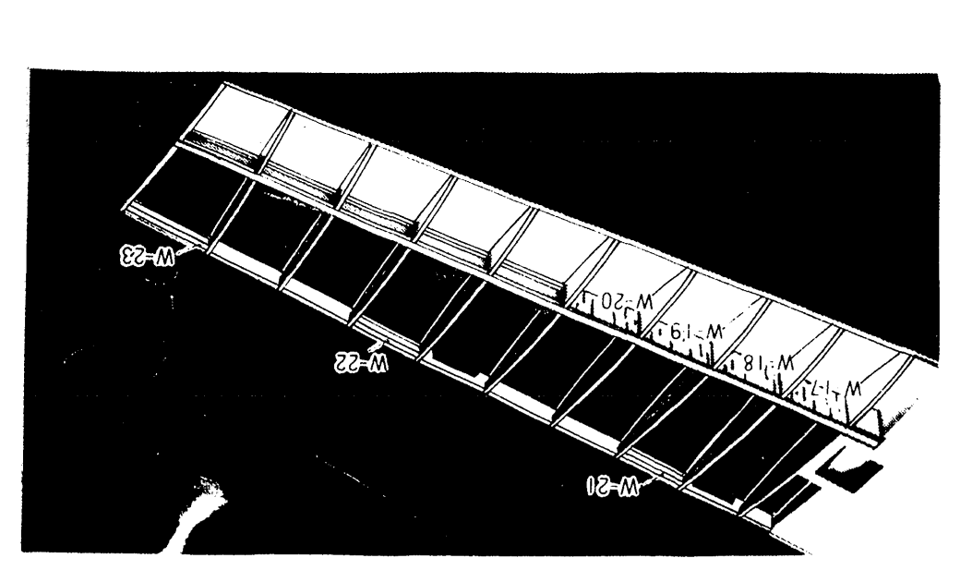
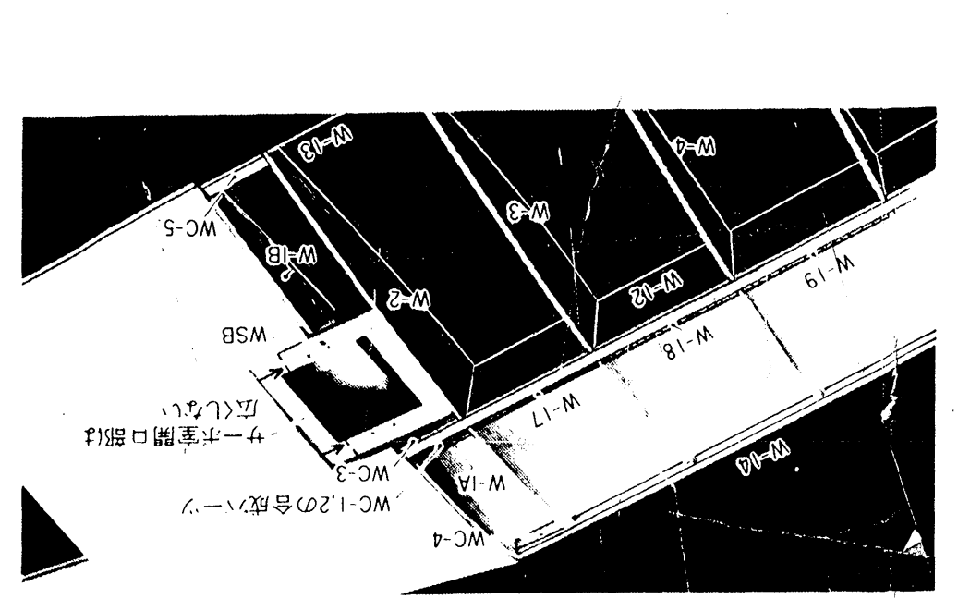
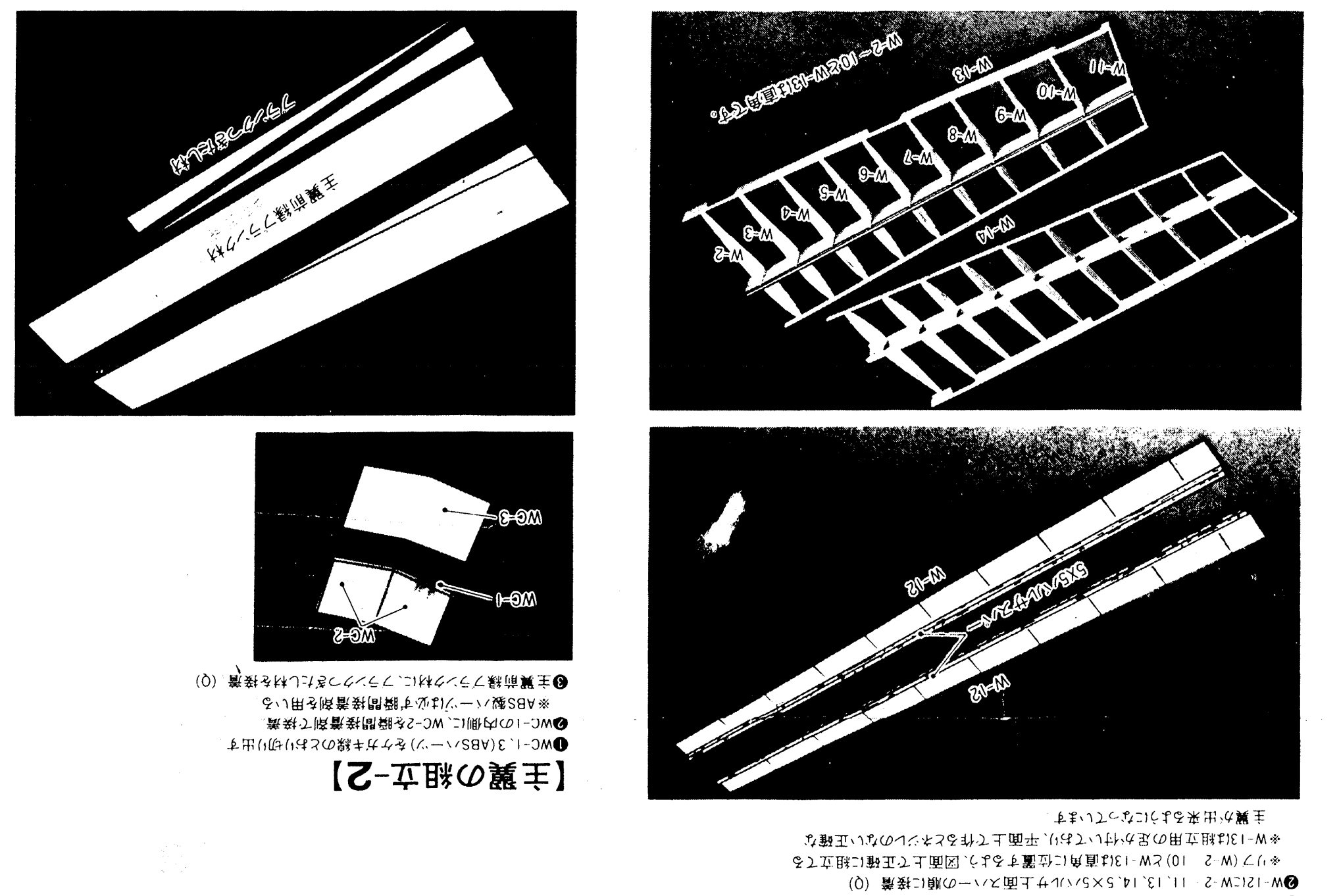
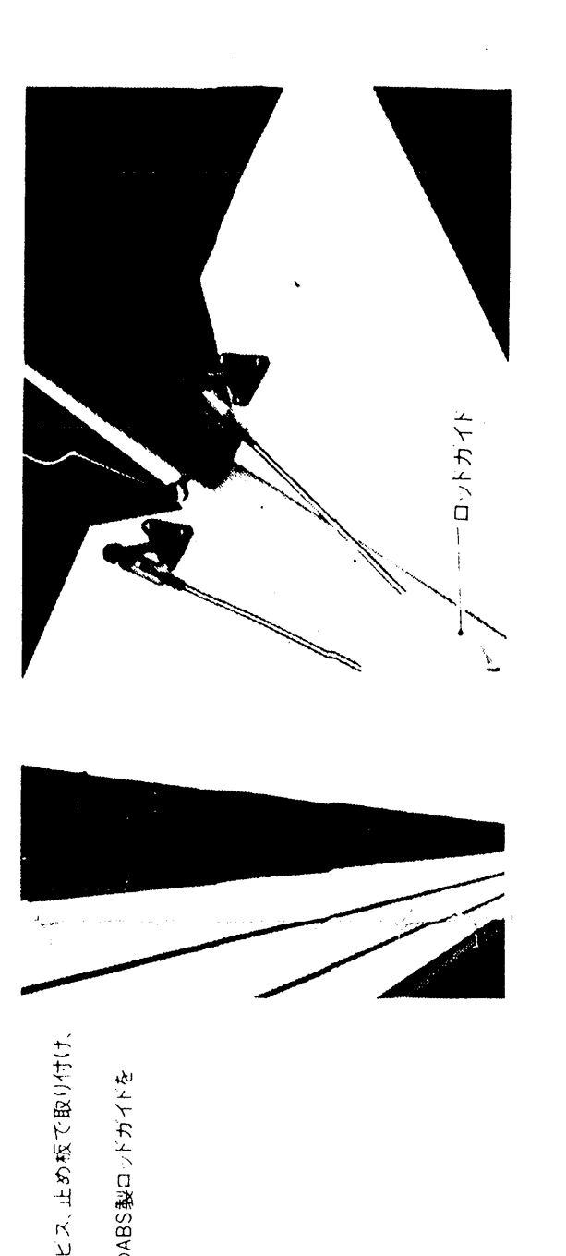
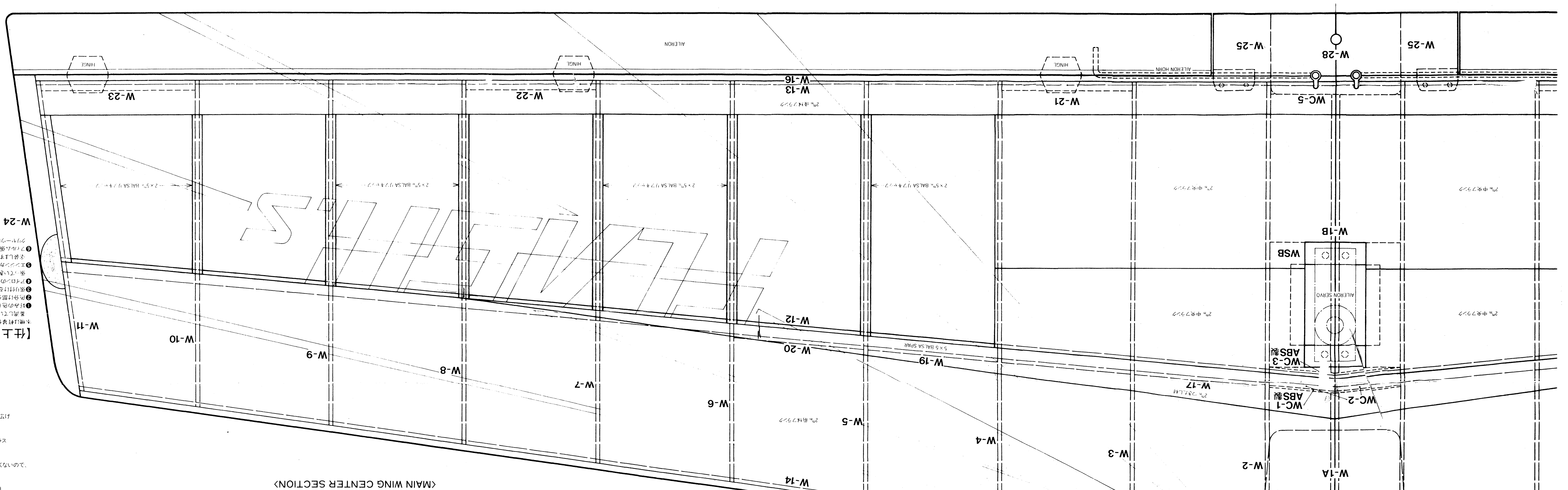
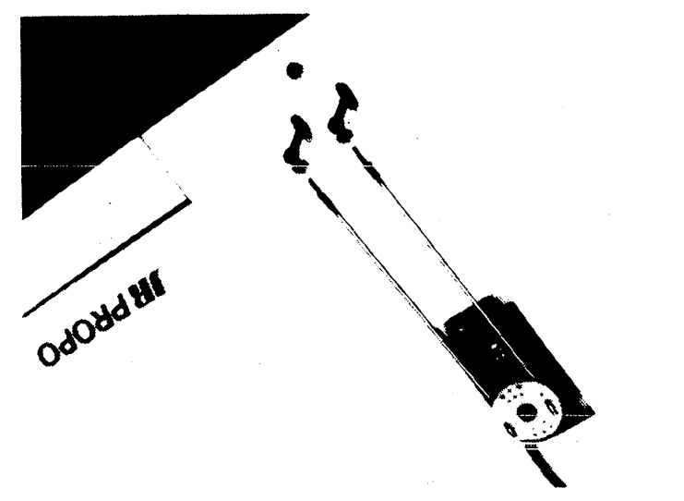
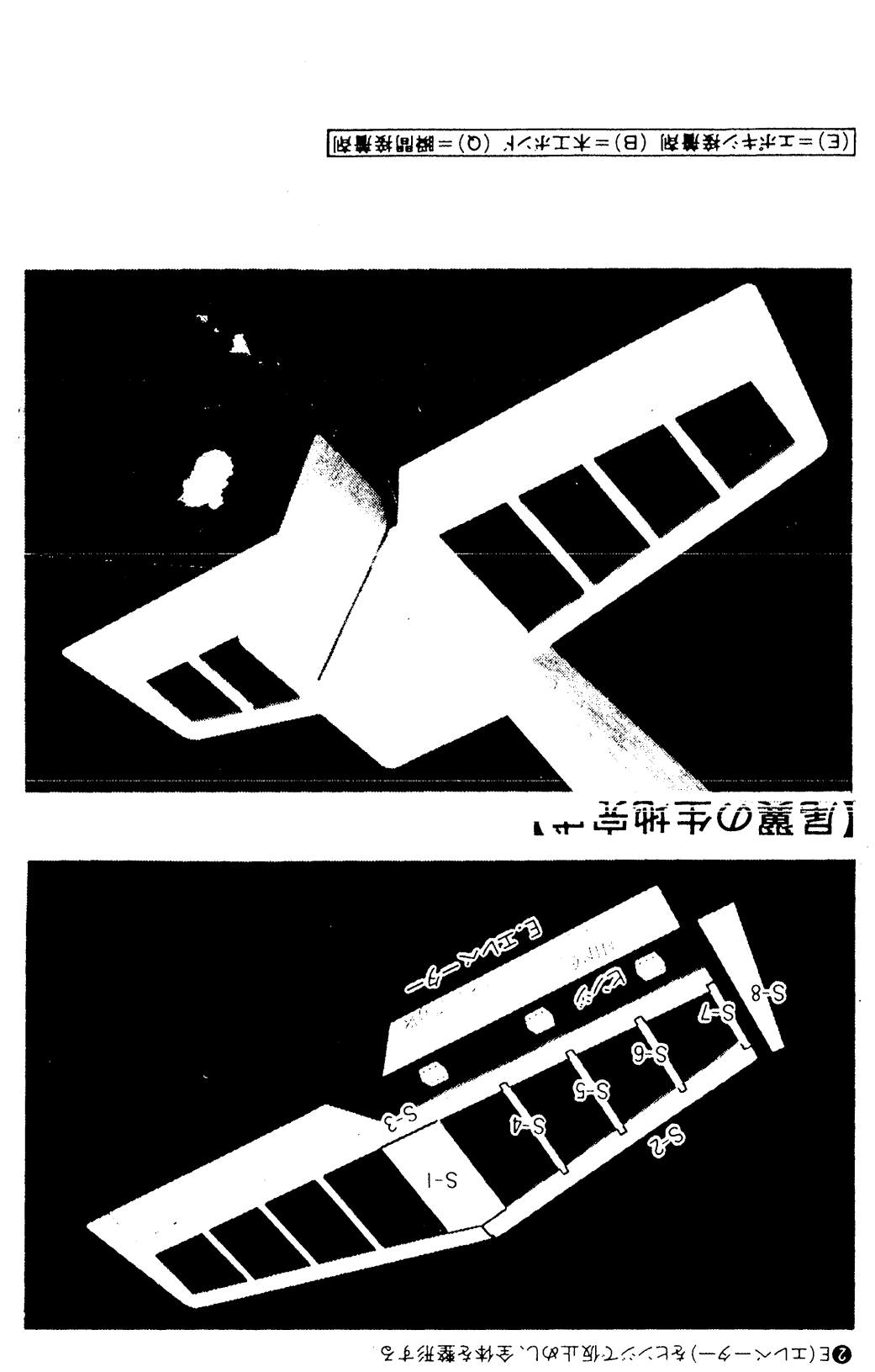
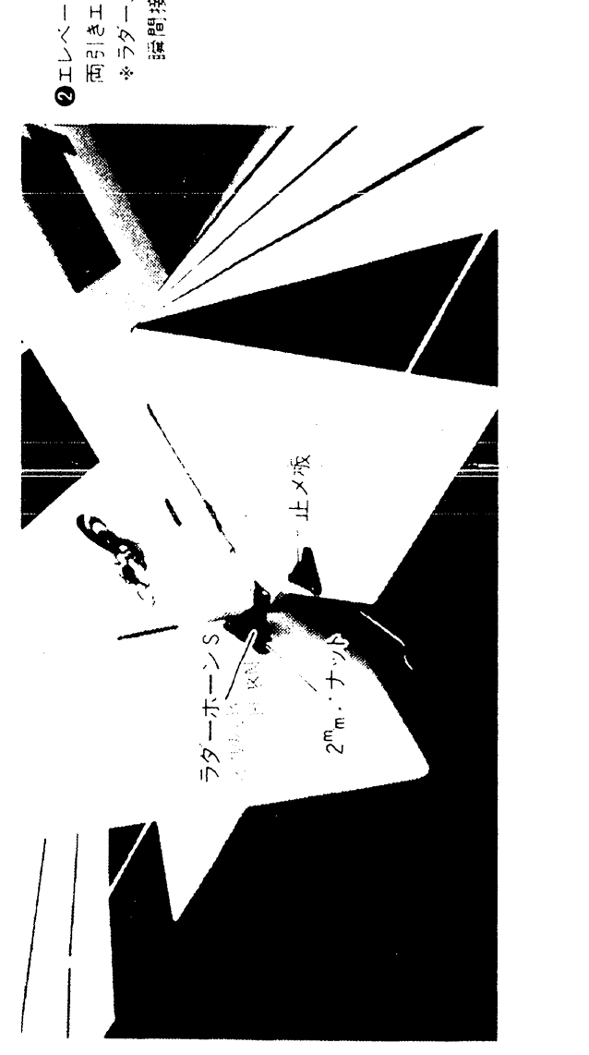
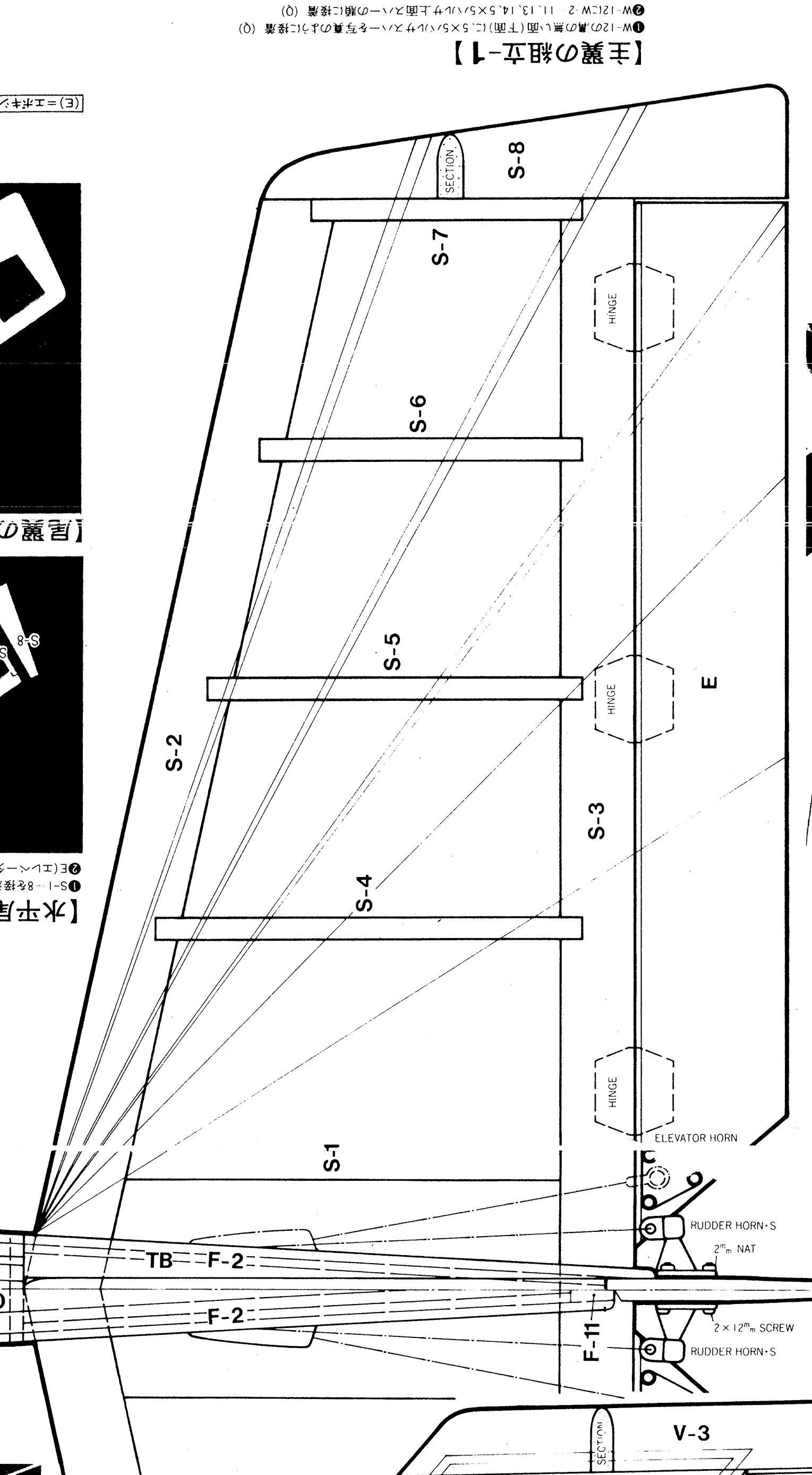
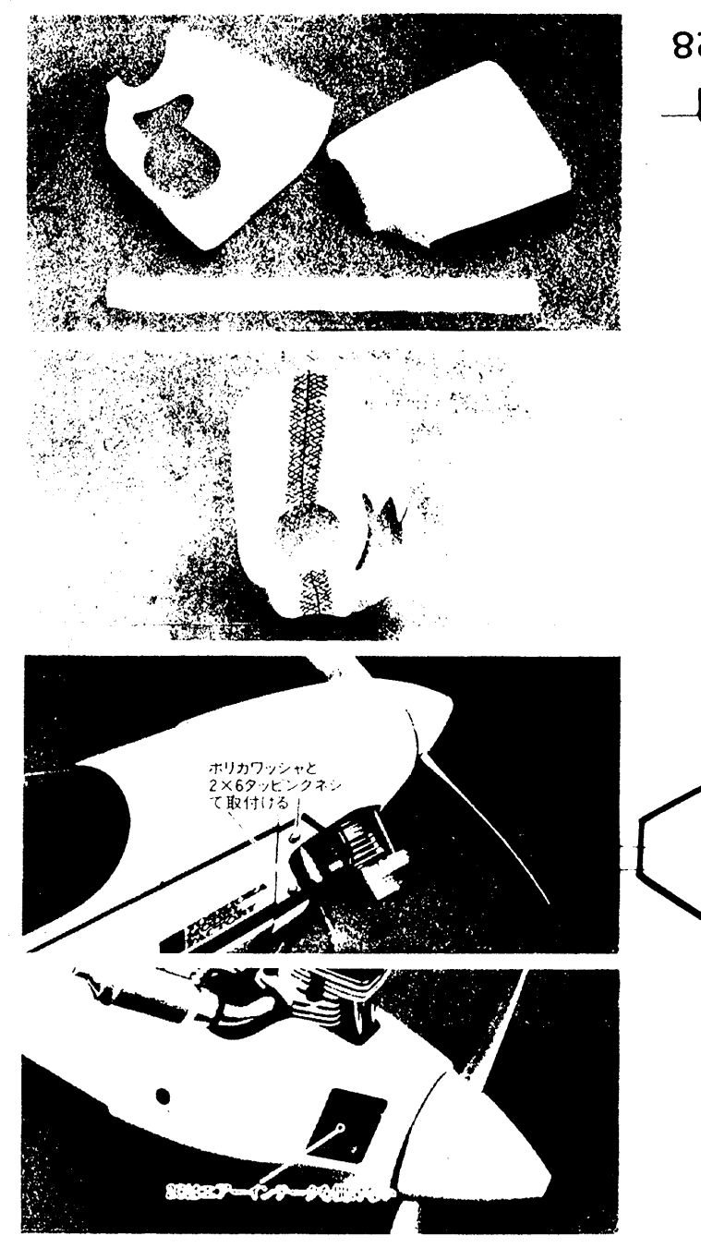
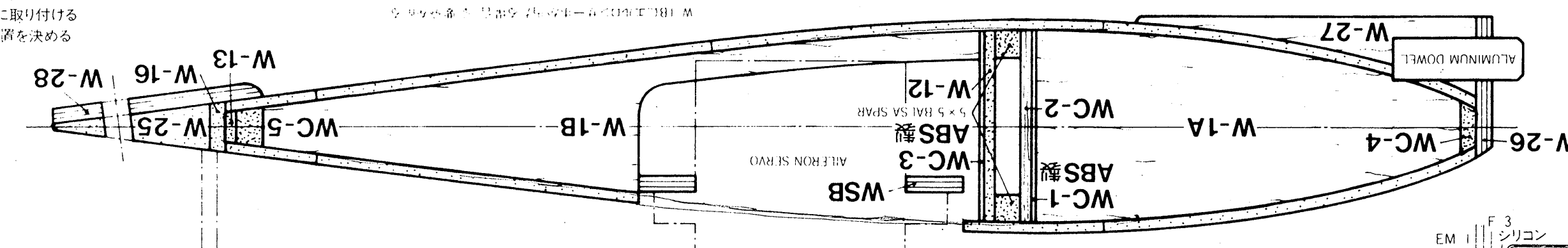








W-23
W-22
W-21
W-16
W-25
W-28
W-24
W-11
W-10
W-9
W-8
W-7
W-6
W-5
W-4
W-3
W-2
W-1A
W-1B
W-12
W-20
W-19
W-17
W-13
W-14
W-15
W-26
W-27
WSB
WC-1
WC-2
WC-3
WC-4
WC-5
ABS製




S-1
S-2
S-3
S-4
S-5
S-6
S-7
S-8
E
ELEVATOR HORN
RUDDER HORN-S

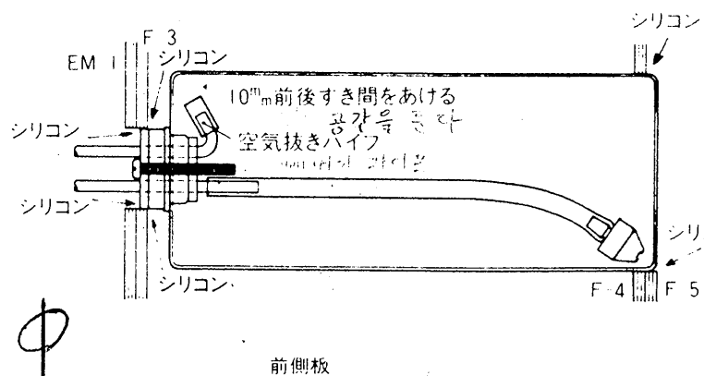
【カウリングの組立】

❶ABS成型品の内側のケガキ線を目安に余分をカットし、左右ともヘーハーで平らに仕上げ、エンジン、マフラー等の穴をあける
※ケガキ線をボールヘン等でなぞっておくとよい
※エンジン開口部は、参考図面を切り取り、カウリングに当てて、サインヘン等で印を付け、小さめの穴をあける 現物に合わせ広げながらエンジン周囲より3㎜位大きめにする
※4Cエンジンの場合のみエアーインテークをあける
❷カウリンク左右をセロテーフで止め、内側より15㎜巾に切ったガラスクロスを当てて、低粘度瞬間接着剤を流し、固める
※ガラスクロスはバイアスに切ると使いやすい
※2Cエンジンの場合、キャブレター位置より前のつながり巾が少くないので、内側にガラスクロスを接着(Q)し、補強するとよい
※ABSハーツにエホキシ系接着剤は付きません
❸カウリンクに胴体取付用の2㎜穴をドリルであけ、外側から補強用ホリカワッシャ4枚を接着(Q)し、2×6タッヒングネジ4本で胴体に取り付ける
※スヒンナーベースとカウリングの間が1.5～2㎜となるように位置を決める



〈MAIN WING CENTER SECTION〉
W-28
W-16
W-13
W-25
WC-5
W-1B
WSB
W-12
WC-2
WC-3
ABS製
WC-1
W-1A
WC-4
W-26
W-27
ALUMINUM DOWEL
AILERON SERVO
5×5 BALSA SPAR
〈上反角(DIHEDRAL)〉

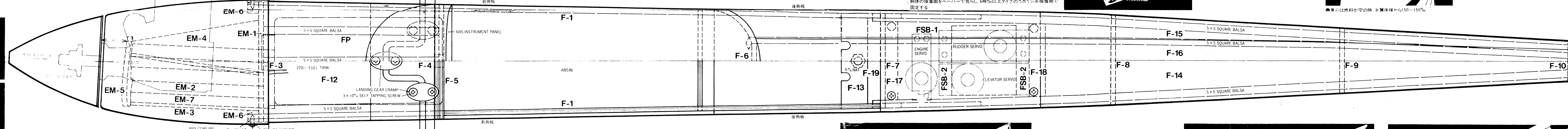
【燃料タンクの断面図】

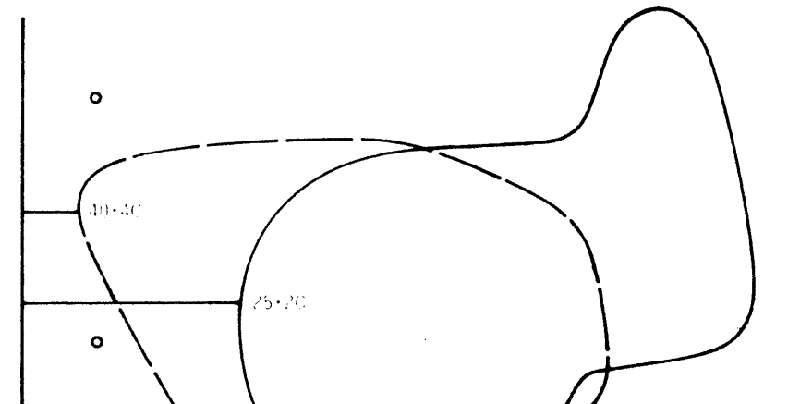
●胴枠と接する部分は、シリコン接着剤で固定、シールする
●タンクは220ccが付属していますが満タンにするとノースヘビーになり過ぎます 使用エンジンの燃料消費量に合わせ、タンク内の空気抜きハイフを上面より10㎜前後下げて下さい


EM-1
F-3
シリコン
10㎜前後すき間をあける
空気抜きハイフ
F-4

【コクピットの組立】

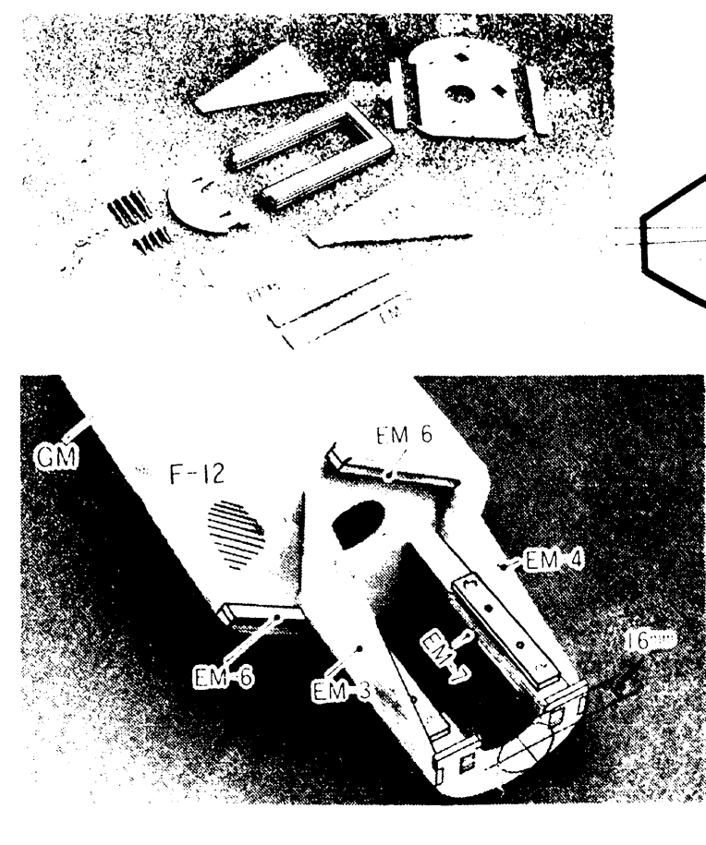
❶1㎜ABS板よりコックヒット床板及び後面を現物に合わせカットし、胴体に接着(Q)
❷メーターハネルをケガキ線を目安に余分をカットして、前面に接着(Q)
コックヒット全体(キャノヒー内)をフラカラー等で塗装仕上げする
❸ハイロット人形をケガキ線を目安に切り出し、前後を接着する(Q)
好みの塗装仕上げをし、首、胴体をつなぎ床に接着する(Q)
※コックピット内に空気抜き穴を必ず作っておく
❹完全に完成後キャノヒーをケガキ線にそってカットし、キャノヒーと胴体の接着面をペーハーで荒らし、6時間以上タイプのエホキシ系接着剤で固定する


25～40・2C SIDE EXHAUST TYPE
40・4C ENGINE
2×10×64 SPRUCE
2×6㎜ SELF TAPPING SCREW
POLYCA WASHER
EM-6
EM-1
EM-4
EM-5
EM-2
EM-7
EM-3
ABS COWLING
5×5 SQUARE BALSA
FP
F-3
220cc FUEL TANK
F-12
F-4
F-5
LANDING GEAR CRAMP
3×10㎜ SELF TAPPING SCREW
ABS INSTRUMENT PANEL
前側板
後側板
F-1
F-6
F-19
F-13
F-7
F-17
FSB-1
FSB-2
ENGINE SERVO
RUDDER SERVO
ELEVATOR SERVO
F-18
F-8
F-15
F-16
F-14
F-9
F-10
TB
F-2
F-11


〈ENGINE COWL 開口部原寸参考図〉
40・4C
57㎜ SPINNER

【エンジンマウントの組立】

❶EM-2を3枚合わせて接着(Q)し、断面をペーハーで仕上げておく
❷EM-2にEM-5を仮止めし、使用エンジンを載せ、ドライブワッシャ前面とEM-5前面との間が16㎜になるように位置を決める
エンジン取り付け用ネジ穴(下穴)は2㎜φドリルであける
❸EM-1の後からEM-2をハメ込み、EM-3、4、5を接着(E)
※各部に隙間ができないよう充分接着剤を付けておく
❹出来上がったエンジンマウントを胴体との間に隙間ができないよう注意して接着(E)
❺EM-6をF-1前部内側に現物に合わせカットして接着(E)
❻PP板に、エンジン取付用と両端から各5㎜の位置にPP板取付け穴を3㎜φドリルであける
❼PP板を、エンジンマウントに3×10タッヒングネジ(丸頭)で固定し、EM-2裏面にEM-7を接着(E)
※PP板を固定する前に、EM-2表面を瞬間接着剤で塗り固めておく
❽3×20タッヒングネジ、3㎜スフリング及び平ワッシャで、エンジンを仮に取り付ける EM-1にマフラーが当たる場合は、その部分をケズリ取りガラスクロスをエポキシ接着剤で張り付け、表面を仕上げる
※EM-3、4にニードルバルブ等が当たる場合は、必要最小限をケズリ取る
※3×20取付けネジを外したネジ穴に、瞬間接着剤を小量流し込んでおく
※全体にホリ樹脂を塗っておく

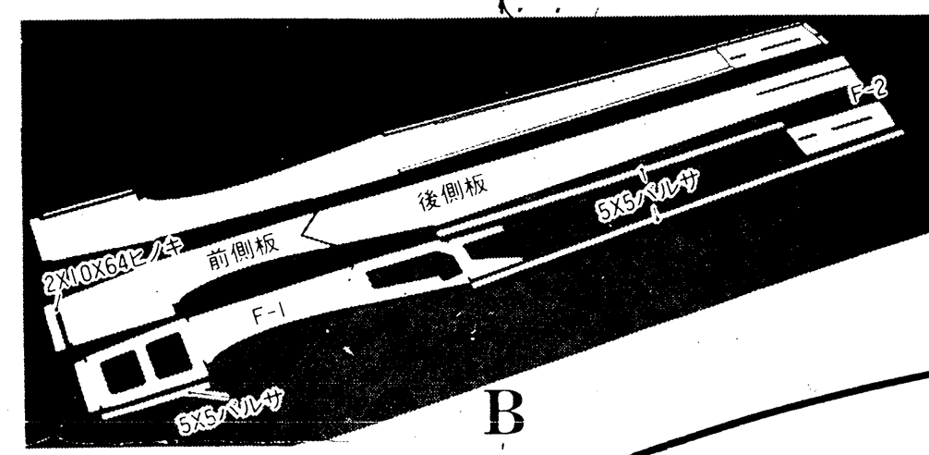


【はじめに】

このキットは、主要構造材の多くがハメ込み式となっています 組立説明順に従い、作業を進めて下さい バルサ材のダイカット部品(側板、リブ等)は軽量バルサを使用しています 軽いバルサは打ち抜き加工の際、刃の入る部分がツブれ、見た目に良くありませんが、機体重量軽減のためにご理解下さい カバーリングは軽量フィルム張り仕上げが最適です

9
78

(E)＝エポキシ接着剤 (B)＝木工ボンド (Q)＝瞬間接着剤

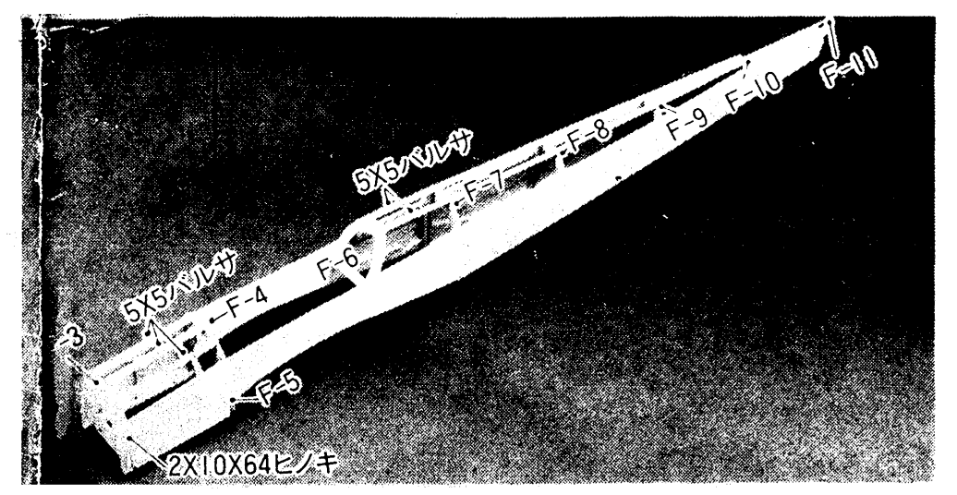

F-2
後側板
5X5バルサ
前側板
2X10X64ヒノキ
F-1
5X5バルサ

【胴体の組立-1】

❶側板前、後を接着(Q)
❷左右側板にF-1、F-2を接着(B)
❸側板後部上面に、5×5バルサ棒を側板より2㎜上に出るように接着(Q)
タンク室下面及び側板後部下面に5×5バルサ棒を側板にそろえて接着(Q)
※5×5バルサ棒は5×5×600材より切って使う(スハー材とまちがわないように)
❹2×10×64ヒノキ板を前側板の先端、F-1の外側に接着(Q、E)

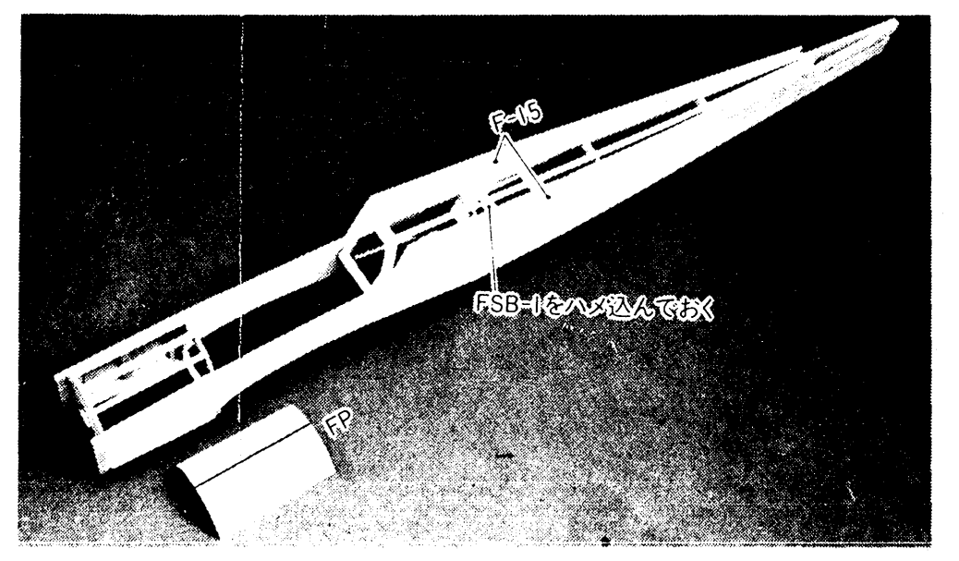
【胴体の組立-2】

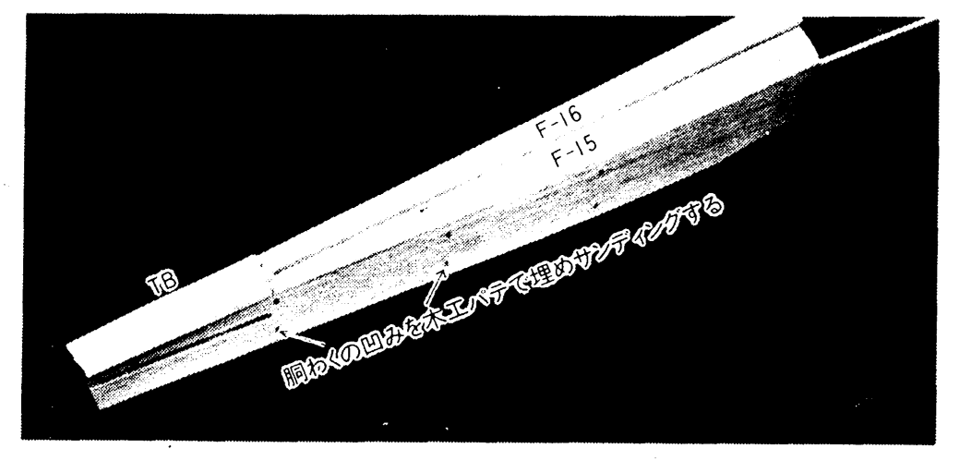
❶左右側板とF-3～11を接着(E、Q)
※F-5はF-4の下部後面にアルミダウエル(主翼止め用8×25アルミ棒)を仮止めし、接着する(E)
※胴体の中心線上に、前から後まで糸を張り、胴体の曲がりのないことを確認の上接着する
※F-11下部前の左右5×5バルサ棒は、斜めにケズリ合わす。
❷F-3～4、F-6～10の上部間に5×5バルサ棒を接着(Q)


5X5バルサ
2X10X64ヒノキ
F-9
F-10
F-11

【胴体の組立-3】

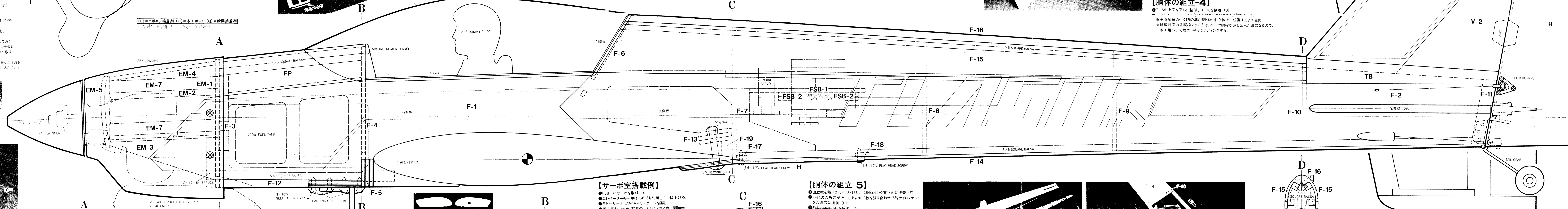
❶FP2枚を接着(Q)し、片面を水で湿らせ丸いものに巻き付けておく。乾燥後、胴体に合わせてカットし接着(Q)
❷F-15を左右側板上に垂直に接着(Q)
❸F-6～10、5×5バルサ棒に接着剤(B、Q)を塗り、F-15の上部をしぼるように左右同時に接着する
※胴体の変形を防ぐため、FSB-1をF-7～8の間に仮にハメ込んでおく


F-15
FSB-1をハメ込んでおく
FP


TB
胴わくの凹みを木工パテで埋めサンディングする

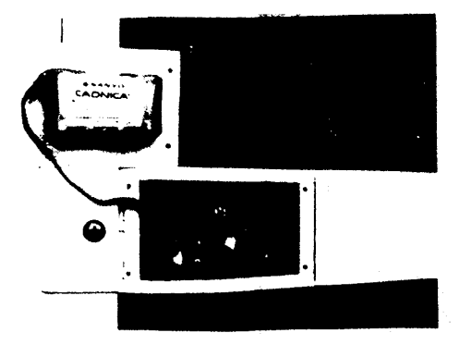
【胴体の組立-4】

❶F-15の上面を平らに整形し、F-16を接着(Q)
[illegible]
※垂直尾翼の付くTBの溝が胴体の中心線上に位置するよう注意
※側板外面の各胴枠ノッチ穴は、ベニヤ胴枠が少し凹んだ形になるので、木工用ハテで埋め、平らにサディングする


CANOPY
ABS DUMMY PILOT
ABS INSTRUMENT PANEL
ABS COWLING
ABS板
A
B
C
D
EM-5
EM-4
EM-1
EM-7
EM-2
EM-3
FP
F-3
F-1
F-4
F-5
F-12
F-6
F-7
F-13
F-19
F-17
FSB-1
FSB-2
F-8
F-9
F-10
F-11
F-14
F-15
F-16
F-18
F-2
TB
V-1
V-2
V-3
R
H
5×5 SQUARE BALSA
220cc FUEL TANK
5㎜ NAT
5×30 WING BOLT
2.6×10㎜ FLAT HEAD SCREW
3×10㎜ SELF TAPPING SCREW
LANDING GEAR CRAMP
3.5㎜ MAIN GEAR
TAIL GEAR
RUDDER HORN-S

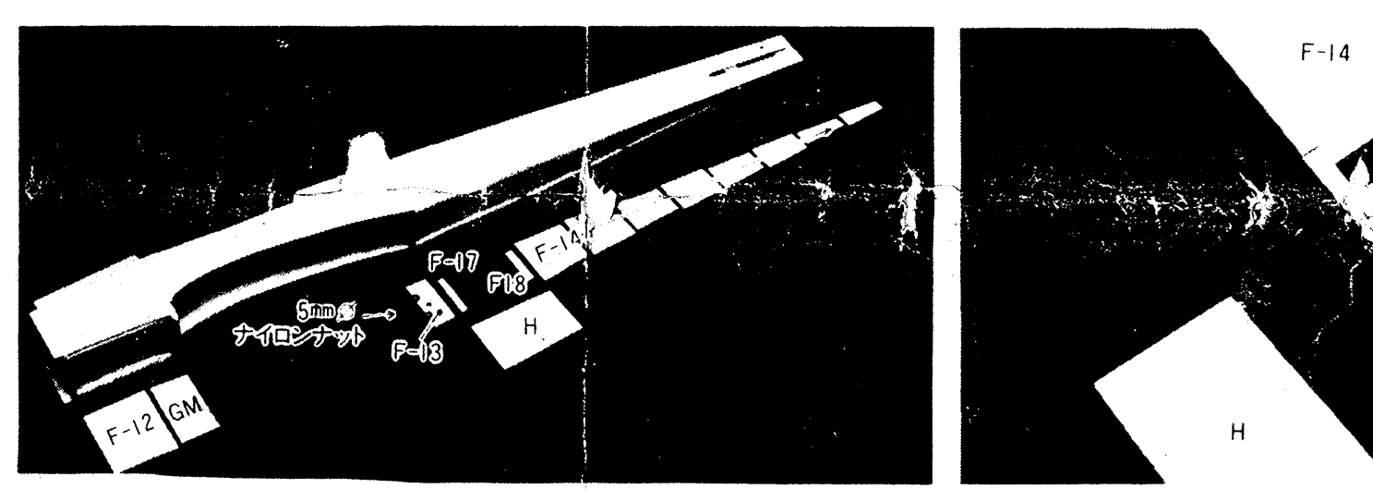
【サーボ室搭載例】

●FSB-1にサーボを取付ける
●エレベーターサーボはFSB-2を利用して一段上げる。
●ラダーサーボはワイヤーリンケージを通る
●重心調整のため、写真のようにハッチ側に両面 固定する場合は、必ず厚手のテープを使う



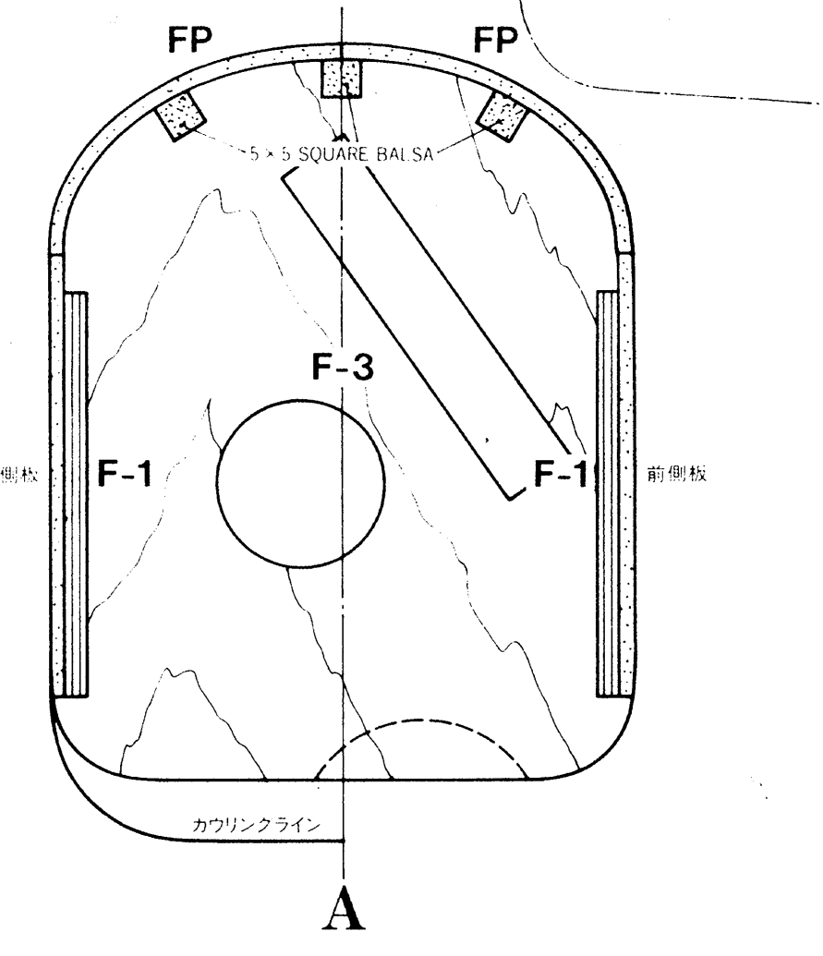
【胴体の組立-5】

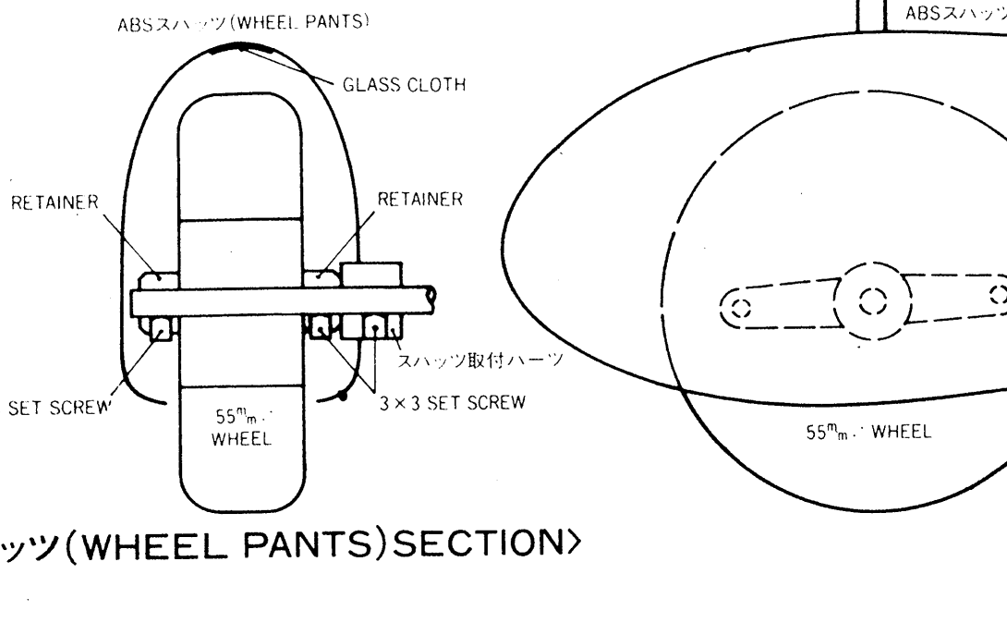
❶GM2枚を張り合わせ、F-12と共に胴体タンク室下面に接着(E)
❷F-13の六角穴が上になるように3枚を張り合わせ、5㎜ナイロンナットを六角穴に接着(E)
❸F-13、14、17、18を接着(C)
※F-17～18間は写真寸法の位置に合わす
F-19をF-7、13のスミに接着(E)


F-17
F18
5㎜φ ナイロンナット
F-13
H
F-12
GM

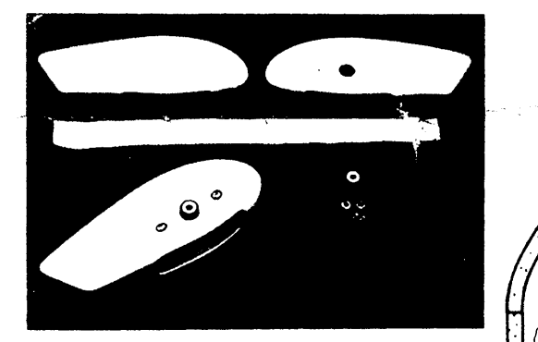
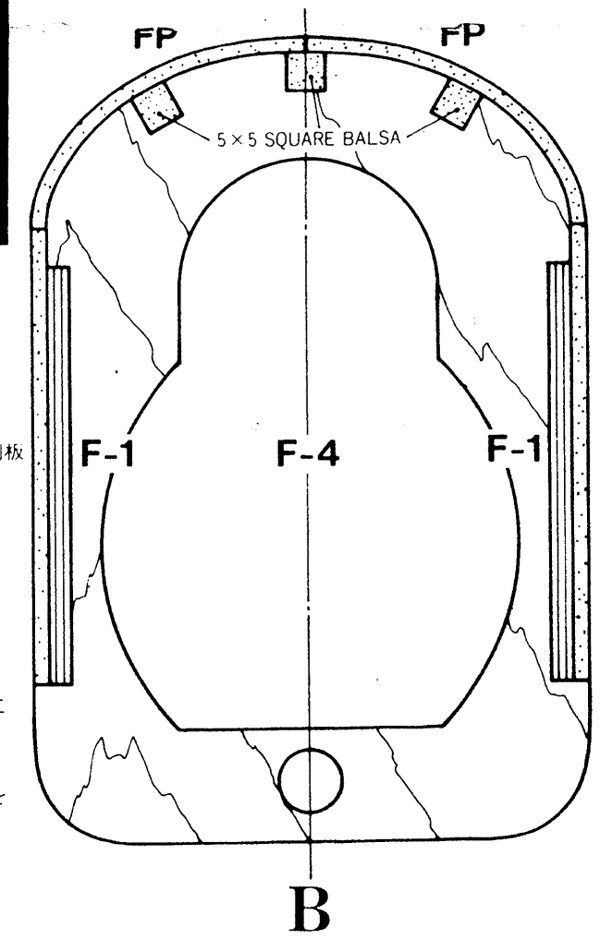
●ご注意
キットは厳選された材料で細心の注意を払って製造されていますが、出荷後お買い上げになられてからは、すべてお客様ご本人の管理下におかれることになります 製作にあたっては正確に作ることはもちろん、接着剤の選定や接着方法のミスにより、強度に大きな影響をあたえる場合がありますので充分注意して下さい
飛行に際しては周囲へ心をくばり、安全飛行をこころがけましょう

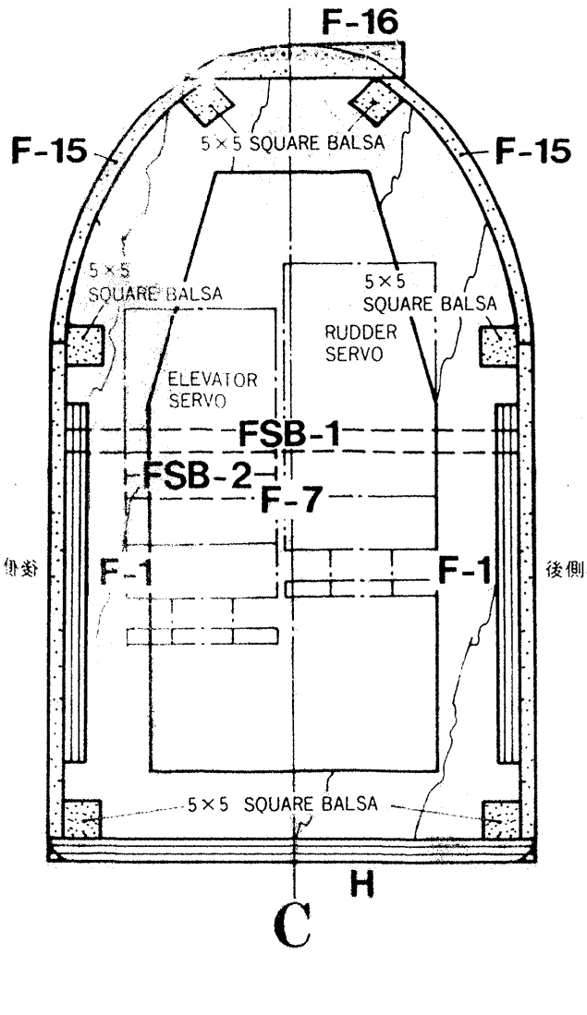
●図面は紙の伸縮により寸法誤差が出ます。カット済みの部品を基準に組み立てて下さい。

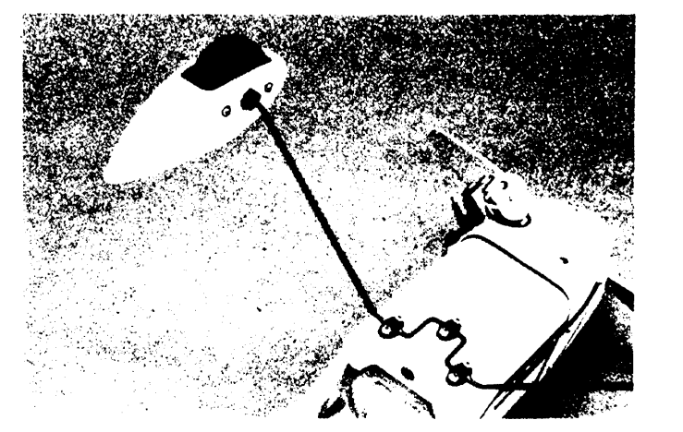

A
FP
F-3
F-1
前側板
カウリンクライン


ABSスパッツ(WHEEL PANTS)
GLASS CLOTH
RETAINER
スパッツ取付パーツ
3×3 SET SCREW
55㎜φ WHEEL

〈スパッツ(WHEEL PANTS)SECTION〉



B
FP
5×5 SQUARE BALSA
F-1
F-4
前側板


C
F-16
F-15
5×5 SQUARE BALSA
ELEVATOR SERVO
RUDDER SERVO
FSB-1
FSB-2
F-7
F-1
後側板
H

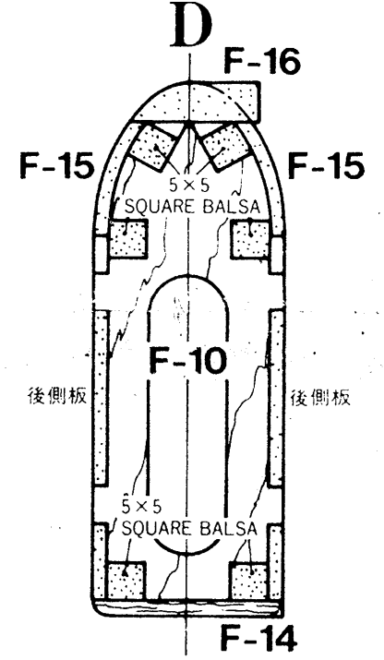


【タイヤ、メインギヤの取付】

❶リテーナーに3×3ホーローネジを付ける
メインギヤにスパッツ、内側リテーナー、タイヤ、外側リテーナーの順にハメ込み、タイヤが軽く回る位置でリテーナーを締め付け、スパッツをメインギヤに固定する
❷脚クランフと3×10タッピングネジ(丸頭)で写真のように胴体に固定する

【スパッツの組立】

❶成型品内側のケガキ線を目安に余分をカットし、ヘーハーで平らに仕上げてからタイヤ開口部をあける
❷スパッツ固定パーツ用の10㎜φと2㎜φ穴をあける
❸スパッツ左右を接着(Q)し、内側より15㎜巾に切ったガラスクロスを低粘度瞬間接着剤を流し固定する
※ガラスクロスはバイアスにカットするとよい
※ABSパーツにエポキシ系接着剤は付きません
❹スパッツの2㎜φ穴外側にポリカワッシャを接着(Q)
❺スパッツ固定パーツを内側からハメ込み、2×6タッピングネジで止める
脚への取付けは3×3ホーローネジで行なう


D
F-16
F-15
5×5 SQUARE BALSA
F-10
後側板
F-14

【垂直尾翼の組立・取付】

❶V-1～3を接着(Q)
❷R(ラダー)を、断面図を参考に整形する
ヒンジで垂直尾翼に仮止めし、垂直尾翼全体を整形する
❸写真を参考に尾輪を作る
❹垂直尾翼をTBに仮止めし、ヒンジ、尾輪、ラダーで全体を仮組立てする
❺水平尾翼取付け位置のF-2、11を切り取る

〈主翼用原寸書体〉

FLASH.S

全長1205㎜/全幅1310㎜/主翼面積30d㎡/全備重量1450～1700g ※FLASH・Sはフィルム張り軽量仕上げが適しています
エンジン25～40クラスサイド排気タイプ・2C、40・4C/R.C.メカ4ch
設計:ヨシオカ・モデル・ファクトリィ開発室
●付属部品＝エルロン、ラダー、エレベーターホーン メインギヤ、尾輪セット ビス類 燃料タンク
●別途購入部品＝タイヤ55㎜×2/ヒンジ×14/リンケージパーツ 各種接着剤 カバーリングフィルム エンジン スピンナー57㎜ R.C.メカ4ch

※本機の仕様は改良等のため予告なく変更することがあります

製造元●ヨシオカ・モデル・ファクトリィ 大翔
YOSHIOKA MODEL FACTORY 大翔

04.1.-5